

「レッツ・フィッシング！」

1. 競技の内容

ロボットを使って魚に見立てた洗濯ばさみを陸エリアに釣り上げる競技です。

【使用ロボットの規格：ユカイ工学株式会社 ユカイな生きものロボットキット】

2. ルール

① 競技の進行

- 1) 競技時間は2分です。
- 2) ロボットはスタート前、縦30cm×横30cm×高さ50cm以内に収まっていなければなりません。スタート後の大きさに制限はありません。競技開始前は、コントローラーを床面に置いておかなければなりません。
- 3) 競技開始前に、選手はまず相手チームのカゴを持って相手コートに魚ばら撒きエリアから魚（洗濯ばさみ）をばら撒きます。この時、魚に触れてはいけません。ばら撒いた際、相手コートから外に出た、もしくはスタートエリアに入った魚は、審判が回収し、選手が再度相手のコート内に再度ばら撒きます。陸エリアに乗った魚は、審判が陸エリアの1段目に移動させます。
- 4) お互いに魚を撒いてコートの準備が整い、競技者がロボットをスタートエリアにセットを完了した後、競技を開始します。
- 5) ロボットは、スタートエリアからスタートし、コート上にばらまかれた魚（洗濯ばさみ）を陸に釣り上げて（乗せて）下さい。
- 6) 魚を釣りあげる陸エリアは、3段の高さがあります。1段目はプラダンで、魚を押して範囲内に入れば釣り上げたこととなります。2段目は30mmの高さがありますので、工夫して段の上に釣り上げてください。3段目はプラダンで、さらに押し込んでください。
- 7) 勝敗は②のとおり決定します。
- 8) ロボットが途中で不調やコートの外に出た場合は、「リトライ」を宣言して審判に認められると、再スタートできます。
- 9) 競技中何らかのトラブルでロボットが動かなくなったとしても、タイマーを止めず競技を続行し、時間延長は行いません。ただし、審判の判断でタイマーを止める、もしくは競技を最初からやり直す場合があります。
- 10) 競技終了の合図ですぐにロボットを停止し、コントローラーを床面に置かなければなりません。

② 勝敗

- 1) 陸エリアに入った魚は、以下のすべての条件を満たした場合に得点となります。

- ・魚が自コートの上陸エリアのいずれかの段に乗り、コート面に接していないこと。
- ・相手コートの上陸エリアに自コートの魚が入っても、得点となりません。
- ・陸エリアの1段目と3段目の得点は、魚がその前の段に接地していないことの判定がしづらいため、魚自体が1段目または3段目のエリアの範囲内に入っており、はみ出していないこととします。
- ・陸エリアの2段目の得点は、1段目に接地していないことの判定しやすいため、エリアからはみ出していても良いこととします。

2) 相手より早く、コート上のすべての魚を陸エリアの3段目に釣り上げた場合、制限時間内でも「大漁（完了）」となり、勝ちとなります。

なお、リトライをしても「大漁」にできますが、反則を行った場合は「大漁」とすることはできません。

得点表

段	点数
1 段目	1 点
2 段目	5 点
3 段目	10 点

3) 制限時間内に獲得した得点が同点の場合は、以下の順に勝敗を決定します。

1. 3段目の合計点の多い方が勝ちとする。
2. 2段目の合計点の多い方が勝ちとする。
3. 減点の少ない方を勝ちとする。
4. 0対0でない場合は競技終了時の状態から30秒間の延長戦を行う。
勝敗は、「大漁」および上記1~4の順に判定する。
5. それでも決まらない（0対0も含む）場合は、ジャンケンで勝敗を決める。

③リトライについて

- ・競技中にロボットが転倒、不調、コードが絡んで動けなくなった、コート外に出た場合などで「リトライ」を宣言して審判に認められるとロボットを回収し復帰させることができます。この間、競技は中断されません。
- ・再スタート位置は、スタートエリアとなります。
- ・魚は「リトライ」で回収することはできません。
- ・競技の中断またはリトライで、ロボットを回収する場合に限り、ロボットを手で触る、コートに手をつくなどの行為を行っても反則となりません。ただし相手の動作を妨害してはいけません。
- ・修理・調整が必要な場合は、コートの外で作業を行ってください。このとき作業できるのは操縦者1名のみです。（工具はポケットなどに操縦者が所持している物のみで、工具箱の持ちこみはできません。）

④反則・失格^{しっかく}

1) 次のようなことをすると反則として、審判が警告し、減点（-1点）します。

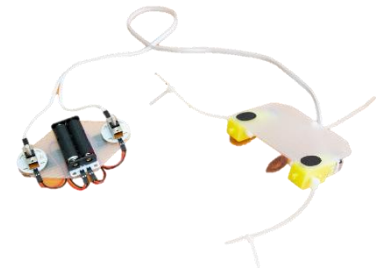
- ・競技中に、リトライ中以外で、競技者がロボット本体やコート上面、陸エリア、魚に触れたり、相手の操縦エリアに立ち入ったりした場合。
- ・ロボットが一部でも相手コートに入った場合。
- ・ロボット以外の、コードそのものやコントローラーのコードを引っ張ってロボットや魚を動かした場合。なお、反則行為で動かした魚は、審判が陸エリア以外のコート上に戻します。

2) 次の場合は失格となります。

- ・競技中に3回反則を行った場合。
- ・反則が3回までであっても、反則を行った時に審判の警告に従わず、その反則行為を続けた場合。
- ・3. ④に示す指定以外の電池を使用した場合。
- ・車検後に運営事務局に無断でロボットを改造した場合。
- ・その他、審判が重大な違反行為と判断した場合。

3. ロボット

①基本となるロボットのキットは、ユカイ工学株式会社ユカイな生きものロボットキットです。



②ロボットは改造ができます。

- ・モーター、電池ケース、スイッチは付属のものを使う必要がありますが、それ以外の付属品は必ずしも使う必要はありません。電池ケース及びスイッチ以外の素材の追加は自由です。コントローラーを改造せずにモーターの追加をすることは問題ありません。
- ・運営事務局はケーブル長の変更を強く推奨します。

③ロボットに次のような改造を禁止します。

- ・コートや競技用資材、相手のロボットを汚す、傷つけるような構造にはしてはいけません。
- ・競技の続行が困難となるような破壊的な構造にはしてはいけません。

④競技中に使える電池は、市販の単3型（1.5V）2本のみで、これを超える本数の使用は認めません。

また、電池をおもりに使うなどの場合でもこの2本までしか使えません。ニッケル水素電池などの充電式電池は発火の危険性があるため、使用してはいけません。

⑤スタート時のロボットのサイズは縦30cm×横30cm×高さ50cm以内に収まっていないければなりません。スタート後はサイズ制限がありません。

⑥重量制限はありません。

⑦魚を持ち上げるために粘着素材を使用することは、粘着素材が競技用資材に付着して競技に支障をきたす可能性が高いため、使用は認めません。

4. 競技者

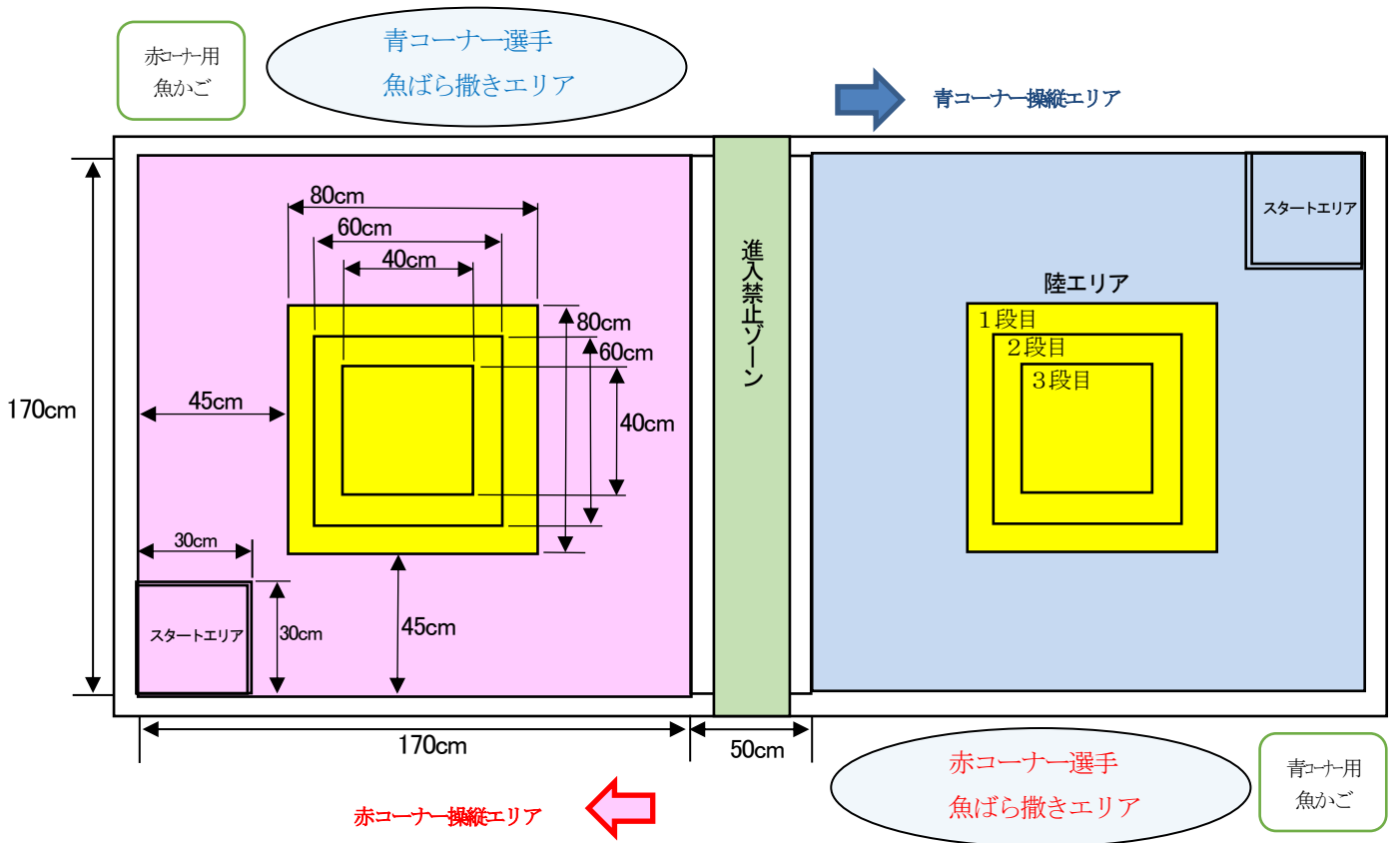
- ①競技中に操縦エリアに入ることのできるのは操縦者1名のみです。競技中ロボットの修理・調整が必要な場合、ロボットに触れることのできるのは操縦者のみです。
- ②競技中の操縦者は、チームで参加の場合、操縦者として事前に登録した者とします。それ以外の者は操縦できません。ただし、登録した操縦者が病気・けがの場合は、運営事務局が認めたときのみ、他のチームメンバーと交替することができます。
- ③大会期間中、ロボットの整備・修理を行うことができるのは登録しているチームメンバーのみで、他の協力者等がロボットにむやみに触れることはできません。

5. 競技コート

- ①競技コートの内寸は、青、赤各コート170cm×170cmで、その周りを木の枠(約38mm角)で囲まれています。
- ②コート表面は、フロアリューム(東リ20FL)を使用しています。
- ③スタートエリアは30cm×30cm(テープの外側まで)でテープは白色です。
- ④青・赤コートの間は50cm×50cmの間隔があいています。
- ⑤陸エリアについて
 - ・陸エリアはスタイロフォームとプラダンを使用し、以下の寸法です。
 - 1段目：80cm×80cm×厚さ0.4cm(プラダン)
 - 2段目：60cm×60cm×厚さ3.0cm(スタイロフォーム)
 - 3段目：40cm×40cm×厚さ0.4cm(プラダン)
 - ・スタイロフォームは材質上、競技を行っていくにあたり削れることもあります。また、加工の都合上、2~3mm程度の誤差があります。
 - ・スタイロフォーム(ホームセンターコーナン、規格：1820mm×910mm×30mm)
- ⑥魚について
 - ・魚は洗濯ばさみを使用しています。

(規格：コーナンオリジナル W/バネY型ピンチ6P(ホワイト・ブルー)KTH21-4897)
 - ・洗濯ばさみは、1コートにそれぞれ10個ずつばら撒かれます。
 - ・洗濯ばさみは、競技前はコート外のかごに入れられた状態にあります。
 - ・かごの置いてある位置は、下記コート図のとおりです。

競技コート図



陸エリア断面図

